

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 8 号

平成29年12月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

学校東の木々の葉が落ち、これまでより朝日が校庭に当たり、明るくなっています。冬の澄み切った空気の中、児童の元気なあいさつが、ひときわ響いています。

地域とともにある学校

ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

◇ 土曜授業（12月2日）

小学校全市一斉の土曜授業。2～3校時を公開し、学校において、児童が、保護者、地域の方と交流しながら、共に学び、育つよう、多様な体験活動を行いました。

〈活動一覧〉

内 容	講 師	実施学年
折り紙でサンタをつくろう	学校協力者	1
ヒップホップのダンスをしよう	学校協力者	1, 2
食物連鎖から環境を考えよう	市環境保全課職員	2
科学の楽しさを味わおう	帝京大学学生	3
七輪で焼いた餅を味わおう	地域ボランティア	3
スクイズ作りをしよう	保護者ボランティア	4
竹で水鉄砲を作ろう	地域ボランティア	5
トマトソースのパスタを作ろう	保護者ボランティア	6



最後に顔を描いて、サンタのできあがり。



様々な動きでダンスを楽しみました。



生態ピラミッドで環境を学びました。



スライムの化学反応を実験しました。



おこげのある餅の味は格別でした。



本物そっくりのドーナツができました。



竹で作った水鉄砲で遊びました。



本格的なパスタづくりに挑戦しました。

学校づくりへの取組

明るく元気、思いやりのある子ども

◇ やきいも・なわとび集会（12月12日）

なわとび集会は、学年対抗の8の字跳び、縦割り班対抗の団体跳びの二つです。休み時間などを利用して練習を重ね、回数を増やしてきました。なわとびで大切なのは、仲間と心、声、動きを一つにすることです。閉会式の話の一部を紹介します。

仲間と一つになった心、声、動きが続くよう、ミスしても気持ち切り替えます。そのためには、ふわふわ言葉が大切です。

今、保健室のとなりにある、「思いやりの木」は、皆さんからの思いやりのある言葉であふれています。

「ドンマイ」、「大丈夫」、「きっとできるよ」
今日は、そんな言葉が校庭一杯に広がりました。

ふわふわ言葉で、仲間とのきずなを強くできた集会でした。



やきいもは、地域ボランティアの方が早朝から作ってくださったおき火でふっくら甘く焼き上がり、おいしくいただきました。自然の恵み、そしてボランティアに感謝します。

安全・安心な学校

◇ 避難訓練「火災から身を守る」（12月4日）

第5回の訓練は、業間に理科室から出火したことを想定し行いました。黙って緊急放送を聞いて出火場所をつかみ、安全な経路を判断し、自ら行動することがポイントです。児童は、押さない、かけない、しゃべらないなど、「お・か・し・も・ち」を守り、整然と集合しました。所要時間は2分30秒。教室に戻り、「自分で身を守る」ための心構えや行動を確認しました。



◇ 職員研修「いじめ」「不登校」「児童虐待」（12月15日）

学校の危機管理は、災害や事故はもとより、児童の人権、職員の服務など、多岐にわたります。その中から、3つを取り上げ、職員研修を行いました。

- いじめ：本校では、いじめのない学校を目指し、「いじめゼロ集会」を開き、「いじめゼロ宣言」をしたり、「いじめゼロ」のスローガンや「思いやりの木」を掲示したりしてきました。市が「宇都宮市いじめ防止基本方針」を改訂したことから、変更箇所を確認するとともに、改めて、いじめの芽を察知し組織的に対応することを共通理解しました。
- 不登校：市が「不登校対策の手引書（第2版）」を作成しました。市の不登校の割合は、県と比較し高い傾向にあることから、不登校の要因や「新たな不登校」を生まないための基本的な取組などについて研修を深めました。そして、不登校になりにくい魅力ある学校・学級づくりを行うためのポイントを確認しました。
- 児童虐待：市が「学校、教育・保育施設等における児童虐待防止・対応の手引き」を改訂しました。市の状況を知り、未然防止、早期発見、早期対応に向けた学校の役割を認識するなど、正しい知識と対処法を学びました。